

# URASOE

うらそえ社協だより

浦添社協のステキな取り組みやCSWの様々な活動をご紹介します!

May 2021 (令和3年)  
No.387  
9-10月号



浦添市社会福祉協議会

発行/社会福祉法人 浦添市社会福祉協議会  
編集/社協だより編集委員会

〒901-2103 浦添市仲間 1-10-7 ☎ 098-877-8226 FAX 098-875-1613  
https://urasoeshakyo.or.jp E-mail urashakyo@urasoeshakyo.or.jp 制作/株式会社スウインツ

福祉事業への寄附・寄贈 ご寄付ご寄贈ありがとうございました 令和3年5月26日～令和3年7月25日

コスモプラン 有限会社 様 浦添市前田 3-5-9 30,000円	株式会社 朝日建設コンサルタ 共済会 様 浦添市城間 3-9-1 30,000円	浦添でたこライオンズクラブ 様 浦添市仲間 1-10-7 2F 200,000円、物品	栗國 清子 様 浦添市大平 2-3-1 50,000円	喜友名 昇 様 中頭郡読谷村字座喜味 583 本約3,000冊
---	---	---	-----------------------------------	---------------------------------------

香典返し  
又吉 りつ子 様  
浦添市牧港 2-21-1  
100,000円  
※故(夫)又吉 政明様  
の香典返しとして

福祉事業への寄附・寄贈の掲載スケジュールについて  
いつもご寄附・ご寄贈ありがとうございます。うらそえ社協だよりの発行の変更に伴い、掲載スケジュールも右記のとおり変更になります。

【寄附・寄贈をした日】  
令和3年3月26日～令和3年5月25日  
令和3年5月26日～令和3年7月25日  
令和3年7月26日～令和3年9月25日  
令和3年9月26日～令和3年11月25日  
令和3年11月26日～令和4年1月25日

【掲載】  
第386号 (令和3年7月1日発行)  
第387号 (令和3年9月1日発行)  
第388号 (令和3年11月1日発行)  
第389号 (令和4年1月1日発行)  
第390号 (令和4年3月1日発行)

令和3年6月25日に開催しました、令和3年度定時評議員会及び、第2回理事会におきまして、社会福祉法人浦添市社会福祉協議会第26期役員選任の結果、右記のとおり選任されたので報告いたします。

役員同士の重責を自覚し、浦添市における地域福祉の推進のために鋭意努力する所存でございます。皆様方の一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年6月25日に開催  
しました、令和3年度定時  
評議員会及び、第2回理  
事会におきまして、社会福  
祉法人浦添市社会福祉協  
議会第26期役員選任の結  
果、右記のとおり選任され  
たので報告いたします。

監事・金城満珠 男  
渡口和子  
鈴木伸章  
下地秀男  
上地武昭  
比嘉栄治  
浦崎勝  
中野絃子  
金城淳  
高江洲幸子  
平良睦男  
比嘉武宏  
島袋真  
新垣和歌子

会長 久貝宮(再任)  
副会長 神山高成(再任)  
常務理事 又吉りつ子(再任)  
理事 新垣和歌子

第26期役員就任

うらそえの福祉教育の歴史を紹介するよ!!



▲ハンディキャップ体験(昭和62年) ▲アイマスク体験(昭和63年)

福祉を伝える手段として、学校では、施設訪問、疑似体験、手話・点字などが取り入れられるようになりました。しかし「かわいそう」「怖かった」などの負の印象や「助けてあげようと思う」などの一方的な視点・意見になってしまいうことも…。

1980年代 1990年代 2000年代

昭和61年：浦添高校が福祉教育の協力校として指定。  
平成元年：福祉関係者と教育関係者からなる「浦添市福祉教育研究協議会」設置。  
平成5年：福祉教育の手引き書発行。幼稚園編、小学校編、中学校編の3部作で構成され、福祉教育実践の具体的なものとなった。  
平成9年：第1回福祉教育実践報告会開催。また、浦添市教育委員会 学校教育要覧 学校教育における指導の努力事項に初めて「福祉教育の推進」が盛り込まれる。

## 福祉教育のあゆみ

ふだんのくらしのしあわせ



▲これからの福祉教育(平成3年発行)  
▲福祉教育の手引き(平成5年発行)



▲バリアフリーチェック型車いす体験(平成31年)



▲赤い羽根共同募金活動(令和元年)

2000年代 2010年代 現在、そして未来へ

2000年代にはこれまでの福祉観が見直され、「ひとづくり」や「まちづくり」が推奨されるようになりました。社会の多様性や複雑多岐にわたる地域課題を住民と専門家との間で解決に導いていこうとする動きが高まりました。

平成14年：福祉教育の手引き「やさしいきみたちへ」が浦添市教育委員会監修の元、発行される。

平成23年：「やさしいきみたちへ」改訂版発行。ノーマライゼーション(障害のある人もない人も共に生きていく社会)という言葉が盛り込まれる。

平成26年：子どもモニター部会立ち上げ。「誰もが安心して暮らせる福祉のまち」をテーマに市内のバリアフリー状況をチェック。子ども達の意見や提案が、第五次浦添市地域福祉活動計画に反映される。

「ひとが生きてってどんなこと?」「障がいてって老いるってどんなこと?」「ふるさとが好き」「これからのふるさとはどうする?」「近所のあの人みたいになりたいな」「お隣のひとと一緒に何かしてみようかな?」

これからの福祉教育のテーマは「ともに豊かに生きる」こと。  
30年以上前とくらべて、福祉教育の考え方も大きく変化してきました。「できないこと」に着目した福祉教育から、それぞれのもつ「強み」や「課題」、「ちがひ」や「おなじ」に着目した福祉教育へと転換しています。また、福祉教育の対象は学校の子どもたちだけではなく、地域住民一人ひとりを対象としており、「ともに生きていく」ための福祉教育を実践していくことが、地域共生社会へとつながります。

赤い羽根共同募金からのお知らせ 運動期間 令和3年10月1日～令和4年3月31日

今年も10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金がスタートします。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、街頭募金をはじめ対面での募金活動が制限される中、地域の企業や住民と連携した新たな取り組みを行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響が続き、生活困窮世帯の増加や人と人とのつながりの希薄化など、様々な地域課題が浮き彫りとなっています。赤い羽根共同募金は、このような課題を解決する仕組み作りのための重要な財源となっています。

今、こんな時だからこそ、「あなたは一人じゃない」といえる浦添市であるために、赤い羽根共同募金へご支援・ご協力をお願いいたします。

赤い羽根共同募金についてのアンケート  
皆様の赤い羽根共同募金についてのご意見をお聞かせください。ご協力よろしくお願いします。

回答期限：令和3年9月1日(水)～10月31日(日)  
回答方法：QRコードをスマートフォン等で読み取りご回答ください。

[アンケートについて]  
本アンケートは無記名でご回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用しません。

相談無料 ふれあい福祉相談センター

- 一般相談 / 9:00～16:00 月～金曜日
- 弁護士相談 / 10:00～12:00 第1、第3水曜日 要予約
- 司法書士相談 / 10:00～12:00 第2水曜日 要予約
- 家計相談 / 10:00～12:00 第2火曜日 要予約
- カウンセリング相談 / 13:00～16:00 第2、第4土曜日 要予約

9-10月 うらそえ社協スケジュール

ふれあい福祉相談センター  
☎ 870-1333  
予約受付/月～金(祝日除く)8:30～17:15

40年の信頼と実績

損害・生命保険総合代理店  
有限会社 あい保険工房  
代表取締役 新垣 耕憲  
〒901-2126 浦添市宮城2丁目24-2  
TEL(098)878-0025 FAX(098)877-2122

保険選びは…相談がいちばん!  
今からは自助努力の時代!  
がん保険・医療保険にぜひご加入ください。

営業日：月～金曜日 9:00～18:00  
土曜日 9:00～15:00  
※日・祝日は休み

サンSUN君が行く!!

# 地域のイトコ紹介



## 寄附型自動販売機編

福祉型自動販売機の設置が  
続々と増えています!

令和3年3月までの設置台数……7台  
令和3年4月からの新規設置台数6台

※計13台(7月末現在)  
てだこのまち浦添をいつも見守っているサンSUN君!  
今回は寄附型自動販売機を設置し、地域福祉活動への寄附をしていた  
だいている、株式会社那覇部品の渡久山孝樹さんにお話を伺いました。

### Q1. 那覇部品さんは寄附型自動販売機の設置第一号とお聞きしましたが、なぜ設置しようと思ったんですか?



弊社には「地域社会へ貢献する」という社訓があり、何かできないかと活動を模索している中で、社協から寄附型自動販売機設置の話があり社会貢献の一歩と(株)那覇部品の渡久山さん(左) いうことで即決しました。

### Q2. 寄附型自動販売機の良いところを教えてください。

地域の皆さんが自動販売機を通して、いつでも誰でも気軽に寄附ができるというところが良いですね。

### Q3. 寄附型自動販売機が少しずつ増えてきているようですね。

地域の企業の方から「自動販売機で寄附する仕組みがあるよね」という話が出た時に、「弊社の設置している自動販売機がそれですよ」と言って紹介しました。いろいろな企業が自動販売機を通した寄附の仕組みに興味を持っているようです。

### Q4. 最後に一言お願いします。

大きなことはできませんが、少しでも社会福祉の貢献につながれば嬉しいです。



浦添市内間一丁目交差点「SUZUKI」の看板が目印です

※寄附型自動販売機…寄附型自動販売機を通して購入された飲料の売り上げの一部が寄附され、様々な地域福祉活動に活用されます。

SDGsの取り組みとして

貧困や人と人のつながりの希薄化などの様々な社会の課題を解決し、将来安心して暮らし続けていくために、SDGsへの取り組みが求められています。大きな目標達成のための小さな一歩ですが、自動販売機を通した寄附が地域課題の解決に役立てられます。

## 『寄附型自動販売機のご紹介』

浦添市社会福祉協議会では寄附型自動販売機を設置していただけるオーナーを募集しています。詳しくはQRコードを読み込み確認することができます。「飲んで福祉を応援」しよう!

[問]企画総務課 担当:川満 ☎ 877-8226 FAX 875-1613

飲んで福祉を応援!



新たに寄附型自動販売機を設置していただきました。ありがとうございます。

①宮良そば様(浦添市当山 1-7-17)  
沖縄県労働金庫 本店様(那覇市旭町 1-9)

# ふだんのくらしのしあわせ ~その主人公は私~

「福祉教育」は⑤だんの④らしの①あわせを作るための学びです。「福祉」と聞いて、多くの人が連想するのが障がい者や高齢者のこと…。それは、「福祉=障がい者や高齢者、困った人を助けてあげる」と無意識に他人事と考えているからです。でも、例えば、自分が一度も訪れたことのない場所で災害が起きた時は「大変だね」と終わってしまっても、一度でも訪れたことのある場所で起きた時は「大丈夫かな?」と心配する気持ちが湧いてきませんか?それと同じように、福祉も何かのきっかけやふれあい、関わり合いが少しでもあれば、我が事(自分のこと)になっていきます。

ふだんのくらしのしあわせを実現するためには、「その主人公は私!」と我が事にすることがとても大切です。



### 地域×福祉教育

地域に暮らすさまざまな人や団体がその地域を考えると、ともに育ち、育み、ともに暮らすための知恵を出し合う過程が福祉教育です。

### 学校×福祉教育

学校の多様な授業の中で、さまざまな人との会話や対話、関わり合いを通して、福祉について理解を深めることも福祉教育です。

### 家庭×福祉教育

自分を愛することや、そこから生まれる思いやりの心などを、信頼できる家庭と学校、地域との関わり合いの中で育むことも福祉教育です。

## ボラセン担当のつぶやき…

福祉教育って、自分と違う相手を知ることだと思う。相手の想いや背景を知って、その人の存在を認めてあげること。そのためには自分のことも知って、認めてあげることが大切。自分を知って大切にすることが、他者への思いやりの心を育むと思うから…。今の時代、他人や自分と向き合う余裕…なかなかないですよね?だからこそ意図的に自分と向き合ってみて。そして、自分にとって⑤だんの④らしの①あわせが見つけられたら、それから福祉教育について少しだけ考えてみてくださいね。



担当:石原 宏紀  
(浦添市ボランティア・市民活動支援センター)

## 【令和2年度 浦添市社会福祉協議会決算報告】

